

知恵ビジネスの飛躍的な集積

～企業の顧客創造と地域の自律的な成長～

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

円高やデフレが長期化し、電力料金の引き上げが見通される不透明な経済環境の中、新政権が誕生し、年が明けました。新しいリーダーのもと、持続的な経済成長に向けて、潮目の変わる1年となることを期待しています。

昨年、本所は創立130周年を迎えました。記念式典や会員のつどいでは、多数の関係者とともに節目の重みを分かち合い、烏丸通中央分離帯の植樹事業には、会員の皆さまから多額の寄付を頂戴し、京都市に寄贈することができました。会員の皆さまのご厚志に心から御礼申し上げます。

また、京都・知恵産業ウィークは、展示会や産業観光ツアーを通じて、広く府民・市民の皆さまに、京都産業の歴史と未来への展望を体感いただく、初の試みとして実施いたしました。特に、京都産業まつりでは、本所が経営支援に携わる、知恵ビジネス認定企業などの小さくともキラリと光る中小企業を数多く紹介でき、個別企業への地道な経営支援活動が実を結びつつあると感じています。

本年は、平成22年に策定した3カ年計画「ニュー京商ビジョン・セカンドステージ」の最終年度を迎えます。ビジョンでは、平成25年を「飛躍的に知恵ビジネス産業群の集積が始まる時期」としています。京都の中小企業は、独自の強みや京都の知恵の蓄積を活かし

て、新たな顧客創造・価値創造を実現し、地域を自律的な成長へと導くために、そのポテンシャルを發揮しつつあると思います。オール京都の産業育成の司令塔となる「京都産業育成コンソーシアム」との連携により、成果の見える化を図り、さらなる知恵産業の誘発につなげて参ります。

環境、資源エネルギー、安心・安全、健康、医療、福祉、農業など、今後の成長が期待される分野は、大企業でなくても参入でき、地方でも成長できる内需型産業です。新しい地域のニーズにきめ細かに対応し、磨き上げられた高品位・高品質の製品・サービスは、真にグローバルな世界市場でも競争力を有し、アジアの成長ダイナミズムを取り込むことは間違いありません。地域の自律的な成長と日本経済の再生に向け、各地で地域に根差した内需型産業が胎動する1年になることを期待します。

また、オール京都でビジョンを共有し、世界から人々が集う創造都市としての都市格向上を目指すことも大切です。都市としての魅力を磨くことによって、国内外からより多くの訪問客を迎えることができ、すそ野の広い京都の観光産業の振興につなげたいと考えています。

本年が皆さまにとって、実りある年となることを祈念いたしますとともに、本所への一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつといたします。

以上

京都商工会議所
会頭 立石義雄